

【市長との地域懇談会 記録】

開催日時 令和元年7月4日(木)
19:00~20:00

まちづくり協議会区域名 城田地区まちづくり協議会

会場 城田地区コミュニティセンター

参加者数 24人



《質問・意見》

避難所である城田小学校への道路が1本しかなく避難勧告、避難指示のレベル4になるとその時点で皆の避難が集中し、住民の生命にかかわってくる。

いつ災害が起こるかわからないので、それに備え、もう1本避難道路を確保して欲しい。

《回答》【市長】

土地が低いところがあると聞かせていただいているので、河川計画と併せて、適切な避難についても、皆さんと話しをしながら進めていければと思う。

要望いただいて翌年にすぐにはできるとそうでもないこともあるので、粘り強く皆さんと一緒に環境改善に努めていければと思う。

《質問・意見》

3年前の水害時、避難所である城田小学校からの帰りに菱川が氾濫し、坂東へ戻る道路が浸水して通れなかった。坂東地区は孤立していて、住民は避難できない状況になった。

1本の道路に坂東の住民だけでも1,000台の車があり、城田小学校は300台しか入れないので手前道路で停滞し、浸水して車も浮いてしまう。

1本の道路では避難できないので、お金がかかっても、上地の高台に逃げる道を作ってほしい。現状をしっかりと認識して、県などにも相談して何らかの方法で作ってほしい。

《回答》【市長】

粘り強く毎年要望していただき、何らかの動きができればと思う。

《質問・意見》

労働福祉会館を利用するが駐車場が11台しかなく不都合している。前の県庁舎の駐車場に駐車すると注意される。

また、福祉健康センターをよく利用するが、駅前移転の関係で利用料金は高くなるのか。今より高くないようにして欲しい。

《回答》【市長】

労働福祉会館の駐車場については、話をしてみます。

福祉健康センターの利用料金については、確定していないので、決まったら広報などでお知らせします。

《質問・意見》

中学校の統合計画では、城田中学校と小俣中学校の統合となっている。

城田中学校は、市内で一番生徒が少ないが、将来、他校は減少するが、城田は生徒が増加していく。一方、相手校の小俣もマンモス化している。現在の相手校との統合計画を白紙にし、60～70年前のように、玉城を統合の相手に、広域で考えてはどうか。

《回答》【市長】

時代に応じて柔軟に考えていくべきと考えている。統合計画は残ったままであるが、子どもの数の推移についても見直す必要があると思っている。

《質問・意見》

宮川河川敷の外周道路の改修をしていただいたことに礼を言う。その後の計画を聴かせていただきたい。財政事情厳しいかもしれないが、早期にお願いしたい。

《回答》【市長】

台風 21 号被害後、地元のご協力をいただき、国・県の工事で宮川堤防改修ができた。国も、地元に貢献できるものという話があったが、15年経っている。何らかの形でひとつずつ進めていきたいと思っている。計画はまだ残っているので、一歩ずつ何かのタイミングで進めていければと思っている。

《質問・意見》

まちづくり協議会の最終目的は地域自治になると思うが、伊勢市は、どこまで地域自治を進めようとしているのか。

《回答》【市長】

今まで、行政からの声掛けでやってきたが、本来は地域で議論しながら進めていくのが望ましく、自立をするための財源・手当ては作っていかなければいけないと思っている。伝統行事、歴史を育み、観光資源にならないか考えている。神宮へ訪れた方が、地域を周って賑やかになれば思う。伊勢市史が活用されていないようなので、地域の歴史を後世に残していく取り組みを進めていきたい。

地域の特色を活かし、子どもたちが、このまちで暮らしたいというのが一番大事と思っている。

《質問・意見》

団地に 90 歳の老夫婦二人暮らしの家庭があり、病院通いが日課で、ご主人が運転をしているが心配である。月 1 回タクシー無料券を配って欲しい。

伊勢市として、幹線道路の拡張、37 号線の度会橋のところからドンキホーテのところを二車線の予定はあるのか。まちの発展には、道路の拡張の必要があると思う。

《回答》【市長】

いろんな方策を考えていかなければいけないと考えている。

バス、タクシーの乗務員が全国的に足りない。高齢者であれば、通院ではなく、訪問診療を考えていかなければいけない。バスが充実できないところは、違う方法を考えていかなければいけないと思う。全国から集まって移動手段の研究している場に参加もしており、取組事例を研究し、示していきたい。道路の拡張については、都市計画道路とあって、道路の計画がある。鳥羽松阪線のドンキホーテ前は都市計画決定されていない。

《質問・意見》

まちづくり協議会に疑問に感じることもある。制度はよいので、進めていかなればと強く思っている。地方自治、果たして、伊勢市が将来まちづくり協議会をどの方向に進めたいか全く見えない。

自治会と事業が重複している。連絡協議会がまちづくり協議会になればと思っている。将来、自治会とまちづくり協議会が一本化する方向を伊勢市が示せばそうなると思う。伊勢市はもっとはっきりとまちづくり協議会の方向性を示して欲しい。

《質問・意見》

まちづくり条例を読んでいて、どういうふうになって行くのか考えているうちにわからなくなった。まちづくり条例として、10 年後、20 年後どういうことをしたいのかお聞きしたい。

《回答》【市長】

現状として地域地域の課題をしっかりと捕らえて考えて解決していく手法としてふるさと未来づくり会議をやっている。地域の中で議論し、地域としてまとまっていれば、その手続きは応援させていただければと思っている。

《質問・意見》

平成 23 年に教育委員会に、中学校の統合の問題で、方向性に柔軟性を持たせて考えたらと申し上げた。旧国道を越えて行かなければいけないし道もなく、道路を拡張して整備したうえで合併というのがみえない。玉城との合併を考えたらと提案した。柔軟性を持って考えて欲しい。以前は、下外城田と合併したことがあった。無理に小俣中学に行かなくてもよいのではないかと思う。

《回答》【市長】

歴史的に玉城との繋がりが古い。城下町の歴史が育まれているのが残っている。定住自立圏構想で、行政財産共同利用の構想もあるので、公共施設の共同利用も考えてみたい。